

【新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン】

はじめに

「船橋市サッカー協会第1種委員会の競技開催について」（以下、本基準）は、船橋市サッカー協会の【新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン】（令和4年11月20日発行）の基本運用および構成される要素をもとに、試合の開催、中止いずれかの判断と運営基準をまとめたものです。

1 事前の対応

「参加チーム」

(1) チーム関係者、会場運営関係者の健康チェック（個人用健康チェックシートを作成）

■個人用健康チェックシート

会場に入場するチーム関係者（選手・チームスタッフ（帯同関係者等））、会場運営関係者（会場運営補助者・派遣審判員等）は、試合開催2週間前からの体温と健康状態を記入。

※個人用健康チェックシートは、チームで1か月保管し特に問題がない場合は裁断処理する。

※1種委員会感染症対策責任者が提出をもとめることがあります。

2 当日の対応

「参加チーム」

(1) 以下の事項に該当する場合の自主的な参加の見合わせ

1. 体調が良くない場合。（例：発熱・咳・咽頭痛・味覚障害等の症状がある場合）
2. 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
3. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

(2) 参加者全員のマスクの着用。

(3) 消毒対策キット（アルコール消毒液および手袋・ゴミ袋（推奨））の準備。

(4) 参加者の健康チェック。

■チーム用チェックリスト

1. 会場名, 参加日時, チーム名, 代表者名(当日), 代表者連絡先
2. 参加者の氏名(選手・チームスタッフ(帯同関係者等)), 当日の体温
健康状態 ※チーム代表者は、健康状態について問題ないことを確認した上で記載する。
- (5)施設管理者および会場責任者(運営担当者)の指示に従う。
- (6)会場に入場できるチーム関係者は、大会の規模に応じて1種委員会が制限した人数とする。
- (7)チーム責任者は、会場に到着次第、選手に会場入口にある検温器で検温を促し、
「船橋市サッカー協会1種チーム利用者名簿&メンバーシート」に記録する。
試合が開始する前に審判にメンバーシートを提出する。
また、メンバー欄は本人に記載させること。
- (8)会場ではそれぞれ2mの間隔を保ち、密を避ける。
- (9)会場入口およびチームベンチでは自主的な消毒を行う。
(マスクを必ず着用してゴミはビニール袋に入れて密封して 持ち帰り廃棄する)
- (10)更衣室・ロッカールーム・シャワー室が利用可能な場合は、マスクを着用し会話を
最小限に留め、滞在時間を短くして交代で使用し密を避ける。

「会場運営チーム」

- (1)以下の事項の該当する場合の自主的な参加の見合わせ
 1. 体調が良くない場合。(例:発熱・咳・咽頭痛・味覚障害等の症状がある場合)
 2. 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
 3. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、
地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (2)参加者全員のマスクの着用
- (3)消毒対策キット(アルコール消毒液・検温器・手洗い液および手袋・ゴミ袋(推奨))の準備

■会場運営

- (4)試合後に審判チームから提出された利用者名簿&メンバーシートに問題がないか確認する。
- (5)運営委員は、試合後に会場報告書と共に利用者名簿&メンバーシートを運営部に提出する。
- (6)大会責任者は、回収された利用者名簿&メンバーシートを1か月保管し、特に問題がない場合は裁断処理する。
1種種委員会感染症対策責任者が提出をもとめることがあります。

「競技運営における感染対策」

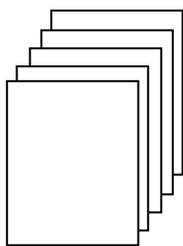
- (1) エキップメントチェックは、2mの間隔を保ちチェック後は個々に入場し
挨拶・円陣は行わない。
- (2) 試合前のチーム集合写真撮影は行わない。
- (3) 試合前、試合後に両チーム、審判団との握手は行わない。
- (4) 試合中は、ベンチ内では代表者・選手・関係者のフィジカル・ディスタンスをとる。
- (5) 試合後の相手ベンチおよび本部への挨拶は行わない。
- (6) 得点時にハイタッチ、抱擁は行わない。
- (7) 怪我をした選手にむやみに接触しない。(やむを得ず接触した場合は速やかに消毒を行う)
- (8) ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむ等の行為は行わない。
- (9) 同じボトルを共有しない。また、口に含んだ水はピッチに吐かない。
- (10) 水、氷を溜めたクーラーボックスを共有しない。
- (11) タオル等を共有しない。
- (12) ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと
配慮する。
- (13) ベンチではマスクを着用し会話を控える。
- (14) ピッチ内の競技者はマスクを外すことが望ましいが、外さない場合は熱中症に
十分に注意する。
- (15) 試合終了後、ベンチの消毒を行うことが望ましい。
- (16) 会場での食事はできるだけ行わないようにする。ただし、大会の運営上、食事を
とらなければいけない場合には、食事前の手洗いを徹底し、十分に距離を確保した
上で黙食とする。
- (17) その他、基本的な感染症対策を選手・スタッフ・観戦者が行うこととする。

個人用健康チェックシート・利用者名簿&メンバーシートについて

【参加チーム】

■個人用健康チェックシートを作成

対象者：選手、チームスタッフ



チーム代表者は、健康チェックシートを回収し
健康状態に問題がないか確認する

⇒チームで1か月間保管する

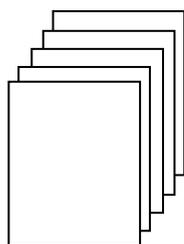
■利用者名簿&メンバーシートを作成

作成者:チーム代表者(メンバー欄は選手に記載させる)



⇒審判に提出する。

■会場運営チーム



会場運営者は、利用者名簿&メンバーシートを
大会運営部長に提出する

⇒審判チームから利用者名簿&メンバーシートを回収する。

⇒運営部で1か月間保管する

3 感染者、濃厚接触者が発生した場合

- (1)大会に参加する選手・スタッフに感染者、濃厚接触者が発生した場合、該当者の大会参加を自粛する。自粛期間は、保健所または医療機関が定めた期間とする。
- (2)組織内(会社・クラブ)に感染者、濃厚接触者が発生した(疑いも含む)場合、大会に参加する選手・役員・スタッフに感染者、濃厚接触者がいない場合は、試合を行うことを前提とするが、委員長若しくは運営部の大会委員長が試合出場を認めない場合は大会参加を自粛する。

4 その他

- (1)大会運営に関しては、1種委員会で大会の規模や参加人数、県内、市内の感染者数等を考慮した上で決定し、事前に参加チームに伝えることとする。
- (2)県内や船橋市内で感染者数が増加し、流行している場合には、運営部もしくは運営委員会で協議を行い、大会の運営方法の変更や中止を決定することとする。

改訂履歴

2020年 8月23日制定

2022年11月20日改訂